

2023 年度 FIT 入試第 2 次選考概要 (A 方式) <参考>

2022 年 9 月 24 日 (土) に実施された慶應義塾大学法学部 FIT 入試 (A 方式) の第 2 次選考の概要は、次の通りです。

1. 模擬講義の概要

- 講義のテーマ：

SNS 上の誹謗中傷と刑法

- 講義の概要：

I はじめに

- 一 SNS と誹謗中傷
- 二 この講義の課題
- 三 この講義の全体像

II 本題に入る前に――そもそも刑法って？

III 誹謗中傷と刑法

- 一 名誉毀損罪・侮辱罪による対応
- 二 その他の犯罪類型による対応
- 三 表現の自由との調整
- 四 小括

IV 侮辱罪の法定刑引上げ等にかかる法律案の概要と検討

- 一 概要
- 二 相違点
- 三 検討

V おわりに

* 大学 1 年生が受講して理解できるレベルの講義 (50 分) を行う。

2. 論述試験の概要

- 論述の設問内容：

「講義の内容を 15 行程度で要約した上で、処罰範囲、刑の重さ、表現の自由との調整などの観点から、SNS 上の誹謗中傷に対する望ましい処罰のあり方について、あなたの考えを述べなさい。」

- 解答の形式：A3 原稿用紙形式・2240 字以内。

- 試験時間：45 分

3. 口頭試問の概要

教員から口頭で以下の問題を与え、受験生に自分の考えを述べること、また、教員からの質問に応答することを求めました。

- テーマ（法律学科）：

「臓器移植に関する問題についてうかがいます。現在の法律では、移植のために自分の臓器を売るとは禁じられています。しかし、現状では多くの人臓器移植を待っているにもかかわらず、臓器を提供する人の数はわずかです。そのため、本人の自由な意思に基づいて臓器を売るとは認め、移植用臓器の供給量を増やすべきだという意見があります。あなたは、この意見についてどう思いますか。」

- テーマ（政治学科）：

「女性の政治参加に関してうかがいます。国際的にみて、日本は、女性議員の割合が低い国です。たとえば、今年のジェンダー・ギャップ指数のランキングでも、日本は、とりわけ政治分野の順位が低く、146 か国中 139 位となっており、その主な理由として、衆議院議員の女性の割合が 9.7%にとどまることが指摘されています。このように、女性議員の割合が低い日本の現状について、あなたはどのように考えますか。」

- 口頭試問時間：約 15 分

- その他：口頭試問の開始前に 2 分で自己アピールを兼ねた自己紹介を求めました。